

社協

ゆざわ

届けよう 小さな愛
つなげよう 笑顔の輪



春号

2024

令和6年4月

Vol.169

この「社協ゆざわ」は、
ボランティア
音声訳の会たんぽぽに
よって音訳CDでもお
届けしています。

視覚に障がいのある
方・高齢の方など希望
者は、社協事務局まで
お気軽にお問い合わせ
ください。

2024年新体制	2
令和6年度 事業計画及び予算	3
社協の「ふくし協育」	4
終活豆知識	5
能登半島地震義援金に関するご報告/ ポッチャで地域交流	6
赤い羽根共同募金 助成申請団体募集	7
ご寄付をありがとうございます/ 苦情解決制度について/ 認知症コールセンターについて	8

令和6年度 START!



みなさんと一緒に

「みんなでつくろうあったかい町 ゆざわ」 を目指します



新任職員紹介

よろしくお願ひします



通所介護事業所介護職員
山本 拓実



訪問介護事業所介護職員
小林 玲子

■退職職員(令和6年3月31日付)
白井亜由美(通所介護事業所)
原澤陽子(通所介護事業所)

「みんなでつくろう あったかい町 ゆざわ」に向けた5つの方針

1 支持・信頼される社協へ

経営の健全化を図り、町民や地域社会から支持され信頼される社協の組織運営に努めます。

2 地域をつくる「人」づくり

活躍する場や役割をつくりながら、これからの地域を支える人づくりを目指します。

3 人につながる「場」づくり

人と人のつながりや信頼関係を深めるさまざまな場づくりを推進します。

4 孤立しない「仕組み」づくり

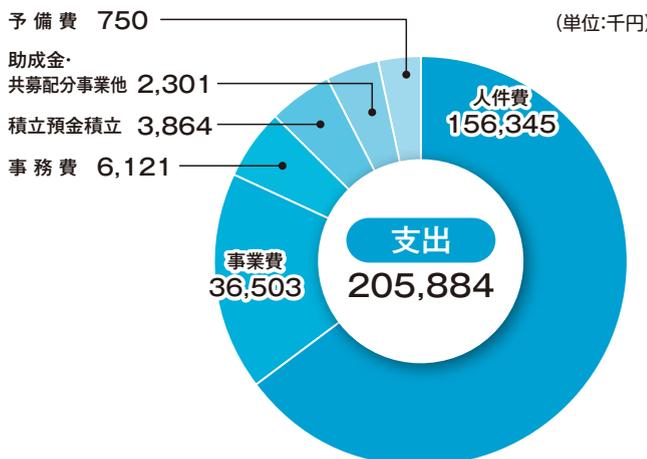
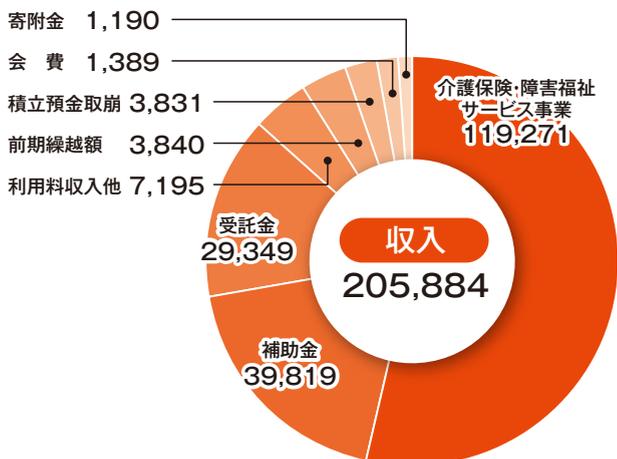
複雑化している課題を受け止め、町民同士で解決に向けて取り組める仕組みを作ります。

5 情報が届くように「知らせる工夫」づくり

さまざまな方法で情報発信、困りごと等の声や思いをキャッチすることで誰もが生活しやすい地域づくりを推進します。



令和6年度予算



みんなで作ろう あったかい町 ゆざわ

社協がすすめる「ふくし協育」は、 「普段とは違う 出会いづくり」 から始まります。



社協では、児童や生徒などを対象とし、みんながお互いのことを理解し合う福祉の心を育てる福祉教育を実施しています。特に社協が意識しているのは、人と人との出会いです。さまざまな人と出会ったり、一緒に過ごす時間と作るために、地域・学校・家庭が協働して育む「ふくし協育」を推進しています。



学校や地域でのふくし協育のお手伝いをさせていただきます。
プログラムを一緒に考え、協力したいボランティアの方、またはプログラムを実施してほしいという地域の方、学校関係者などがいらっしゃいましたら、ご連絡下さい。
(湯沢町社会福祉協議会 / 784 - 4111)



社会福祉法人
湯沢町社会福祉協議会
YUZAWA SOCIAL WELFARE ASSOCIATION

知っていますか？「人生会議」

(ACP：アドバンス・ケア・プランニング)

「終活」の一つ「人生会議」

本誌社協ゆざわでは、昨年度終活豆知識を連載してきました。

終活とは「人生の終わりについて考える活動」を略した造語です。一般的に終活は、人生の最後を迎えるための準備として、自分の老後や亡くなったときに備え、お葬式やお墓、遺言、相続、身の回りの生前整理などを行う一連の取り組みを指すことが多いようです。

しかし最近では、終活は自分の死後について備えることにとどまらず、「自分が大切にしていることは何か」「自分はどのように生きたいか」を考え、これからの過ごし方のほか、最後が近づいてきたときの医療や介護のことなどを含めて、自ら考え、家族や大切な人と繰り返し話し合い、周りの人に伝える方法の1つとして「人生会議」(ACP：アドバンス・ケア・プランニング)が注目されています。



話し合いの進め方(例)

ステップ

Step1

希望や思いについて考える

大切にしたいこと(人生の目標・希望や思い)を考えてみましょう

Step5

考えを文書に書き留めておく

話し合ったことは記録して残しておきましょう。希望や思いは健康状態などによって変わる可能性があるため、その都度見直しましょう

Step2

健康について学び、考える

病気がある場合は、将来どうなるのか、どういう治療ができるのか、その治療でどうなるのか学びましょう

何度でも
繰り返し
話し合う事が
大切です

Step4

希望や思いについて話し合う

医療やケアに関する希望や思いを家族・代理人や医療・介護の専門職と話し合しましょう

Step3

あなたの代わりに伝えてくれる人を選ぶ

自分で判断できなくなったときに、代わりに意思を伝えてくれる人(代理人)を選んでおきましょう

もしものための話し合い「もしバナ」してみませんか？

人生の最期にどう在りたいか、大切なことだと分かっているけど、実際に家族で話し合うことは難しいかもしれません。もしバナゲームは人生の最期にどう在りたいかをカードを使って考えたり、話し合うことができます。ゲームを通じて、家族や友人に自分の願いを伝え理解してもらえらるきっかけ作りにもなります。

興味のある方、体験してみたい方は是非、ご連絡下さい。

(問合せ/湯沢町社会福祉協議会 784 - 4111)



「人生会議」は湯沢町保健医療センターでも推進しています。
(問合せ/湯沢町保健医療センター医療福祉相談室 780 - 6543)

令和6年

能登半島地震義援金に関するご報告

令和6年1月の能登半島を震源とした地震により被害を受けられた皆様に対して、心よりお見舞い申し上げます。

湯沢町共同募金委員会では1月初旬より義援金の募集を開始し、湯沢町社協事務所前に募金箱を設置した他、窓口でも義援金の受付を行ってまいりました。



4月19日までに皆様より寄せられた義援金
(石川県・新潟県への総額)

355,241円 (募金箱で受領 27,363円)
(窓口等で受領 327,878円)

皆さまよりお預かりした義援金は、中央共同募金会を通じて被災された地域へ届けられます。ご協力いただいた多くの皆様方へ感謝を申し上げますとともに、募金活動の途中経過をご報告させていただきます。

なお、災害義援金の受付は今後も継続してまいります。引き続き、皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。



ポッチャで地域交流

ポッチャしようぜ!



「みんなでポッチャ」の会

「みんなでポッチャの会」は、ポッチャを通じて、仲間づくり・健康づくりを推進しています。どなたでも是非参加してください。



ポッチャとは…

老若男女、障害の有無に関係なく、全ての人と一緒に楽しめるスポーツです。



◆会場と時間

湯沢町公民館ホール・毎回10時～12時

◆今年の開催スケジュール・時間

5月11日、18日、26日

6月8日、22日

7月13日、27日

8月10日、24日

9月14日、28日

10月12日、26日

※毎月隔週土曜日に開催します。

◆持ち物

うち履き、飲み物

★参加費無料・申込不要

お気軽にご参加下さい。



「みんなでポッチャの会」は、ルールや楽しみ方を伝えたり、ポッチャの普及をしながら地域づくりに取り組んでいます。町内どこでも伺いますので、是非ご連絡下さい。

(湯沢町社会福祉協議会 ☎784-4111)

赤い羽根共同募金 助成申請団体を募集します

湯沢町内で地域福祉活動を推進するボランティア団体や福祉団体、町内会等の来年度(令和7年度)の事業に助成を行います。

助成対象

湯沢町内の福祉団体・ボランティア団体・町内会・NPO法人名など

対象経費

- 町内会等が行う小地域での福祉推進のための活動費
- 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体等の活動費

助成金交付時期

- 赤い羽根共同募金助成 **令和7年5月頃**
- 歳末たすけあい募金助成 **令和6年12月頃**

申請書提出期日

申請書を記入の上、**令和6年5月13日(月)**までに提出ください

申請方法

- 申請書類は湯沢町共同募金委員会(湯沢町社会福祉協議会)窓口で配布しております。
- 提出は、郵送または直接持参(平日 8:30~17:30)
- 問合せ・申込 / 湯沢町共同募金委員会(湯沢町社会福祉協議会内 ☎784-4111)



ご寄付をありがとうございました。(令和6年4月12日まで)

- 匿名様…………… 20,000円
- 匿名様…………… 紙オムツ 9袋
- 匿名様…………… 100,000円

苦情解決制度について

当会では、社会福祉法の規定に基づき、提供する福祉サービスに関する利用者及び家族等からの苦情やご意見、相談に適切に対応する体制を整えています。話し合いを通じて解決が得られるよう苦情受付担当者を配置しています。

◇令和5年度の当会に対する福祉サービスに関する苦情受付はありませんでした。

解決しない時や直接話しにくい場合は、
県福祉サービス運営適正化委員会にご相談下さい。
委員会が苦情解決のお手伝いをしています。

【問合せ先】県福祉サービス運営適正化委員会
(新潟ユニゾンプラザ内 新潟市中央区上所)
電話：025-281-5609
時間：午前9時～午後5時

苦情解決責任者

関 秋光
笛田 愛
村山 直子
石澤ゆかり

苦情受付担当者

角谷 洋
高橋 一郎
笛田 裕子
古川 房代

第三者委員

岸野 弘(中子)
笛木 賢一(一之町)

お知らせ 認知症コールセンターについて

「新潟県認知症コールセンター」では、
認知症の人やその家族の悩みごとや心配ごとの相談に応じています。

認知症相談：毎週月曜日から金曜日の9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)
電 話：025-281-2783
住 所：新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会内



社会福祉法人 湯沢町社会福祉協議会 事務局

●訪問介護事業所 ●通所介護事業所 ●居宅介護支援事業所 ●湯沢児童クラブ

〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2877-1 湯沢町総合福祉センター内

TEL.025(784)4111 FAX.025(785)6661

社会福祉協議会は、地域のみなさんと一緒に福祉のまちづくりを進める
社会福祉法に位置づけられた民間団体です。



「社協ゆざわ」4月号 (vol.169) に関するアンケート

皆さんからの率直なご意見・ご感想をお聞かせください。

回答者

該当に✓してください

(1) 満足度

満足していない 普通 非常に満足

(2) 読みやすさ

満足していない 普通 非常に満足

(3) 内容について

満足していない 普通 非常に満足

(4) 情報量について

満足していない 普通 非常に満足

(その他) ご自由にどうぞ 取り上げて欲しい記事等も大歓迎です)

持参 又は  785-6661 又は  yuzawa@wish.ocn.ne.jp

——— 令和6年5月11日(土)までにお願ひします ———